

日本建築士事務所協会連合会創立60周年

2022年度日事連建築賞

2022年度日事連建築賞の国土交通大臣賞には、日建設計が設計した「阿波銀行本店営業ビル」(徳島市)が輝いた。日事連会長賞にはPERSIMMON HILLS architectsが設計した「上宍保地区公民館」(岩手県住田町)、60周年記念賞には山崎健太郎デザインワークショップの「新富士のホスピス 川村病院『いまここ』」(静岡県富士市)、松山建築設計室の「みんなの診療所」(鹿児島県鹿野町)が選ばれた。賞は今回で38回目となり、174作品の応募があった。



M&Aはなじまない 人のつながり重要に



大阪マネジメント支援センターの事業承継研修

「M&Aはなじまない」と思いますが、建築士事務所でも許容可能な承継もあれば、一般的なM&Aのシステムをそのまま適用するのは難しいです。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。

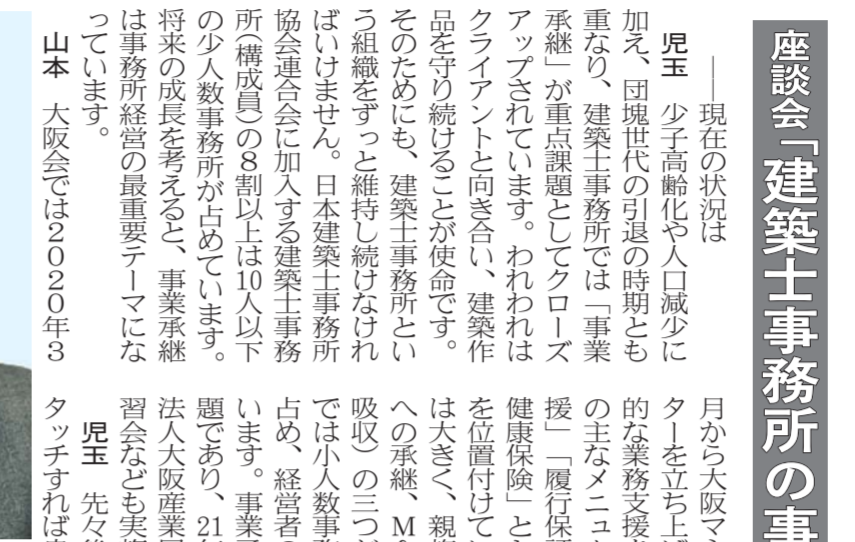
「M&Aはなじまない」と思いますが、建築士事務所でも許容可能な承継もあれば、一般的なM&Aのシステムをそのまま適用するのは難しいです。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。



大阪会副会長 山本 隆明氏 (山本建築設計事務所)



北海道会 石井 孝行氏 (武田建築設計事務所)



日事連会長・東京会会長 児玉 耕二氏 (久米設計)

「M&Aはなじまない」と思いますが、建築士事務所でも許容可能な承継もあれば、一般的なM&Aのシステムをそのまま適用するのは難しいです。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。日事連では、単位の合併や業務ネットワークの中で、事業承継の意識を醸成していき、将来的にその情報をもとに、将来的なつながりがあってもいい、将来的なパートナー関係を築いていこうという考えが、事業承継にも必要だと考えています。

本澤氏 事務所の魅力向上が問題解決へ

「事務所の魅力向上が問題解決へ」というテーマで、本澤氏は自身の経験から、事務所が持つべき魅力や、それを高めるための取り組みについて語りました。特に、スタッフの育成や、クライアントとのコミュニケーションの重要性を強調しています。

「事務所の魅力向上が問題解決へ」というテーマで、本澤氏は自身の経験から、事務所が持つべき魅力や、それを高めるための取り組みについて語りました。特に、スタッフの育成や、クライアントとのコミュニケーションの重要性を強調しています。



新木会長の事業活動

山本氏 管理建築士バンクの枠組み検討

「管理建築士バンクの枠組み検討」というテーマで、山本氏は建築士事務所が持つべき役割や、それを果たすための仕組みについて語りました。特に、建築士が持つべきスキルや、それを活かすための環境の重要性を強調しています。

「管理建築士バンクの枠組み検討」というテーマで、山本氏は建築士事務所が持つべき役割や、それを果たすための仕組みについて語りました。特に、建築士が持つべきスキルや、それを活かすための環境の重要性を強調しています。

「管理建築士バンクの枠組み検討」というテーマで、山本氏は建築士事務所が持つべき役割や、それを果たすための仕組みについて語りました。特に、建築士が持つべきスキルや、それを活かすための環境の重要性を強調しています。

児玉会長 万能薬なし、積極的な議論が出発点

「万能薬なし、積極的な議論が出発点」というテーマで、児玉会長は建築業界の現状や、それを打開するための議論の重要性について語りました。特に、業界全体の協力や、新しい取り組みの必要性を強調しています。

「万能薬なし、積極的な議論が出発点」というテーマで、児玉会長は建築業界の現状や、それを打開するための議論の重要性について語りました。特に、業界全体の協力や、新しい取り組みの必要性を強調しています。



設計風景

石井氏 心強い日事連からの情報発信に期待

「心強い日事連からの情報発信に期待」というテーマで、石井氏は日事連の活動や、そこから得られる情報の重要性について語りました。特に、業界全体の連携や、新しい取り組みの必要性を強調しています。

「心強い日事連からの情報発信に期待」というテーマで、石井氏は日事連の活動や、そこから得られる情報の重要性について語りました。特に、業界全体の連携や、新しい取り組みの必要性を強調しています。

「心強い日事連からの情報発信に期待」というテーマで、石井氏は日事連の活動や、そこから得られる情報の重要性について語りました。特に、業界全体の連携や、新しい取り組みの必要性を強調しています。

最新の動向・事例を収録

ポータルサイト「BIM GATE」開設

「BIM GATE」ポータルサイトの開設について、その目的や、提供するコンテンツについて詳しく説明しています。BIMの普及や、利活用促進を目的とした取り組みとして紹介されています。

「BIM GATE」ポータルサイトの開設について、その目的や、提供するコンテンツについて詳しく説明しています。BIMの普及や、利活用促進を目的とした取り組みとして紹介されています。

国土交通大臣賞に安井建築設計事務所「ふいに『みる』」

安井建築設計事務所が「ふいに『みる』」という作品で国土交通大臣賞を受賞したことを報告しています。作品の概要や、受賞の意義について詳しく説明しています。

安井建築設計事務所が「ふいに『みる』」という作品で国土交通大臣賞を受賞したことを報告しています。作品の概要や、受賞の意義について詳しく説明しています。

安井建築設計事務所 代表取締役社長 佐野 昌彦

有限会社 村田弘建築設計事務所 代表取締役 村田 良太

三菱地所設計 +EMOTION 代表取締役 林 総一郎

株式会社ブラッツ設計 代表取締役 樋上 雅博

株式会社 平野 総合設計 代表取締役 平野 豊二

株式会社 能勢建築構造研究所 代表取締役 野村 毅

NIHON SEKKEI 日本設計 代表取締役社長 篠崎 淳

NIKKEN 日建設計 代表取締役社長 大松 敦

株式会社 内藤建築事務所 代表取締役社長 川本 健三

東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC. 代表取締役社長 President, Representative Director 米井 寛 宇賀 洋司

日建学院 合格実績 POINT 5. 建築士・宅建士・各種施工管理技士 受講生ファーストの日建学院 すべては顧客のため 創業当時の理念 大学生の1級建築士合格者の多くが日建学院生です! 平成元年から令和3年の1級建築士合格実績 1級建築士 合格実績 93,110人 当学院の1級建築士合格者占率 56.1% 建築士法改正後、1級建築士 全国最年少合格者(20歳)も 日建学院から輩出しました! 今年も 合格者全員にプレゼント!